

私はこの動画をみて、改めて命はとて、重い物だと思いました。2つ目の動画のようなひどいいじめは見たことがありませんが、ふさけていて、「死ぬ」や「消えろ」などと言っている人はたまに見ることがあります。その時は「本心ではないだろう」とあまり気にしていませんでした。この動画をみて、ふさけていても決して言えない言葉なんだ、と気がつくことができました。私は人に注意したりすることが苦手な人を見ていても、すぐには注意できないと思いますが、この動画を思い出し、勇気を出して注意したいです。

八幡小、6年2組

社会を明るくする運動のDVDを見て世の中、いじめはとも重いといふことはいじめる側は軽く感じていて気付かない、死ぬ「消える」といふことも暴言はやっぱりなで人の命がなくなると思わないことに気付かないのか、もしくは祖父が世界にいてと心のなかで複雑で、今思ってもういないのか」と悲しくもさびしくもない気持ちになります。弱い者いじめというものがありますが小説でやっぱりいじめたくなってしまうのだと登場人物も言っていたけどやっぱりここに気付かないのか、やさしいです。もしいじめを見つけたら先生や家の人に報告するのもいいけど、自分から「ゆるせ」とか発言できるといいし、友達や親友だもいじめていることに変わりはないのでやはり自分から発言することができるといいなと思いはした。このDVDで貴重な体験を改めて知れました。

八幡小 6年2組

「いいめはほかにあってさげな」と思いました。もし  
「いいめがいる側だ」としたら相手(いいめがいてる側)の  
気持ちも考えよう。簡単な言葉。でも言葉なのだから考えようし  
と思いました。「いいめがいてる側だ」としたら「私もいいめ  
のことを言っている人々」として自分からいって人々を近く  
人にして少しづついいめをなくしてほしいと思いました。  
「いいめがいるのを見た人は、勇気がいさかたしおなひげと、失せ  
た大人の人など」にふたつしていいめをなくすが、そのいいめを  
められるなすくぐにこめてほしいと思いました。「いいめがいる側」  
は相手にとるな気持ちもわからなひげと人になつてたりそ  
すのほるがうと思つた。言葉のいいめも、暴力のいいめも、無視  
するいいめも「私も全部げな」と思いました。実際は  
「いいめを見ることはあまりない」と思つた。人が「いやにほる  
気持ちを少しづつなくしてほたい」と思いました。1つの簡単な  
な言葉で、相手は、すごく傷つくことがあるので、言っている人  
が「多々いいるな」命の大切さ、言葉の大切さを知らせてほしい  
と思つた。いいめについてよく考えるようになった。

八幡小学校 6年2組